

(別紙様式3)

令和6年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号 89  
学校名 愛知県立 内海 高等学校  
校長氏名 竹内 尊司

研究責任者職・氏名	[REDACTED]	
研究テーマ	ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの推進	
本年度の研究目標	(1) ICTを活用して自ら学ぶ意欲を高める (2) 授業の振り返りをし、指導者の指導力向上を図る (3) ICT機器の効果が上がる適時適切な活用の研究	
研究の実施内容		
実施月日	内 容	備 考 (対象生徒等)
5月28日	・第1回あいちラーニング推進事業推進委員会	推進委員
6月6日 ～12日	・授業参観及び研究協議	全教職員
6月14日	・愛知県教育委員会高等学校教育課学校訪問	該当教職員
7月12日	・第1回あいちラーニング推進事業連絡協議会	研究責任者
7月19日	・学習アンケート	全校生徒
9月3日	・第2回あいちラーニング推進事業推進委員会	推進委員
10月7日	・現職研修	全教職員
11月6日	・主幹校公開授業	研究責任者
11月13日	・公開授業及び研究協議	該当教職員、 主幹校教職員

12月23日	・学習アンケート	全校生徒
1月14日	・第3回あいちラーニング推進事業推進委員会	推進委員
1月15日	・第2回あいちラーニング推進事業連絡協議会	研究責任者
2月4日	・第4回あいちラーニング推進事業推進委員会	推進委員
2月19日	・職員会議にて研究報告、次年度に向けての反省等	全教職員
3月14日	・研究報告書提出及びホームページへの掲載	研究責任者

### 研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

#### 1 本年度の研究取組

「ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの推進」を研究テーマに、「(1)ICTを活用して自ら学ぶ意欲を高める」「(2)授業の振り返りをし、指導者の指導力向上を図る」「(3)ICT機器の効果が上がる適時適切な活用の研究」の三つの研究目標を掲げて取り組んだ。

本校では、「わかりやすい授業を目指して」をテーマに授業を展開している。

(1)については、本校の現状として、中学校に行けず高校で再スタートしたいという思いを持って入学する生徒が多い中、学ぶ意欲をより高めるためにICTを活用する方法はないか考察した。(2)については、日々の授業や学期末に行う学習アンケートで、本校職員へ結果を周知し、生徒にとって「わかりやすい授業」を行うための取組である。(3)については、どのような場面でICT機器を活用すれば、より「わかりやすい授業」になるのか、全職員で考察し、良い案があれば共有することとした。

#### 2 連絡協議会

##### (1) 第1回（令和6年7月12日実施）

知多地区の主幹校である阿久比高校と、重点校である本校、半田、東海樟風、半田工科、半田商業、桃陵、知多翔洋の7校で開催した。各行の研究計画の発表、現在の取り組み状況の報告とそれに対する主幹校からの助言、生徒に貸与されるタブレット端末の持ち出し方法等について情報交換した。

##### (2) 第2回（令和7年1月15日実施）

第2回の連絡協議会では、今年度の研究成果について、主幹校の阿久比高校をはじめ、各重点校より報告した。生徒用タブレット端末やICT支援ソフトの種類及び使用感、導入方法等について情報交換した。

#### 3 愛知県教育委員会高等学校教育課学校訪問（令和6年6月14日）

高等学校教育課の指導主事、愛知県総合教育センターの兼務指導主事による学校訪問を受けた。それぞれ理科「物理基礎」と国語「現在の国語」の授業参観をしていただき、その後研究協議を実施し、指導・助言をいただいた。「物理基礎」は運動とエネルギーの単元で生徒用タブレットPCを用いた物理シミュレーションの実験を行った。「現在の国語」は生徒用タブレットPCを用いたグループワークとパワーポイントを活用した発表の準備を行った。

#### 4 あいちラーニング推進事業推進委員会

委員会のメンバーとして、管理職、教務主任及び教科主任を指名し、委員会を開催した。全職員へ周知を図るため、委員会の内容を教科会で共有してもらい、教科会で出された意見を委員会で検討する形式で進めた。あいちラーニング推進事業の概要説明を始め、本年度の研究計画、ICTを活用した授業に関する情報交換等を行った。

- 5 あいちラーニング推進事業における公開授業及び研究協議（11月13日）  
当日実施した公開授業の取組、成果、課題を紹介する。

○第3学年 国語科

(1) 取組

3年生の国語の授業において、「Kahoot!」というアプリを用いて古典文法の学習を行った。古典を読解する上での事前知識として古典文法(動詞、形容詞、助動詞の活用)を学習しているが、本校の生徒は中学校までの基礎知識に関して苦手意識を抱えている生徒が少なくなく、また、そういった事情もあり1、2年次の国語の授業でも文法についてはあまり詳しく扱ってこなかった。3年生に進級し生徒の学習習慣が確立してきたこともあり、古典文法の学習を始めた次第であるが、前述のとおり古典等の文法については強い苦手意識を抱えており、ノートやプリント等の学習だけでは生徒のモチベーションの維持、向上に教員側も限界を感じていた。そこで授業に取り入れたのが「Kahoot!」である。「Kahoot!」とは、ブラウザやスマホアプリで気軽にクイズ大会を催すことができるアプリケーションであり、演出がにぎやかであったり、順位が発表されたりするなど、楽しめる要素が多いものである。このアプリケーションを取り入れることによって、生徒が前向きに古典文法の学習に取り組むことを期待した。今回の授業では、教員が作成したクイズを、クラス全員で各々のスマートフォンを使用し解くことを主な活動として設定した。一度解いて終わりではなく、結果発表ののち復習する時間を設け、同じ内容のクイズで再び開催することで、ただ楽しむだけではなく一つ一つの問題にしっかり向き合うことができるように工夫した。授業の最後では、クイズで出題したものの応用問題をプリントを用いて学習し、知識をただ覚えるだけではなく使えるように意識させることを試みた。

(2) 成果

クラスのほとんど全員が前向きに、楽しそうに「Kahoot!」に取り組んでおり、授業者の意図を汲んで2度目のクイズ大会では絶対に全問正解しようという意識を持つ生徒も多く見られた。また、授業後半のプリント学習についても、普段よりモチベーションの高い状態で取り組めたように感じた。

(3) 課題

授業全体が「楽しい」に寄りすぎてしまうのは懸念点である。アプリを用いる意図、つけてほしい力などを授業者がしっかり伝える必要があると感じた。また、しっかり考えてもわからないから、と適当にクイズに答えてしまう生徒も中にはおり、「Kahoot!」だけでは学習効果がほとんど出ない生徒に対してどうアプローチしていくかは考えていく必要がある。

○第3学年 地歴公民科

(1) 取組

地理総合の防災の範囲において、GoogleEarth を使って、高校や生徒の自宅周辺の海拔について調べさせた。世界地図の中から自分の家を探す作業は、これまでの地理の学習の実践になっており、効果的であったと感じている。本校生徒は2つの作業を同時にしたり、複合的な条件を考えることが苦手な生徒が多いため、本来ならば自治体のハザードマップと地形図を見比べて、自分の家が災害時にどのような危険があるかを考えるべきであるところであるが、テーマを「海拔」のみに絞って実践した。

(2) 成果

作業を少なくしたことで、周りの生徒と話したり、海拔を調べあう余裕ができたことが良かった。しかし、ICT を使用した授業の問題も分かってきた。学習に自信のない生徒にとっては、自分の回答が共有されることに抵抗がある生徒も多いこと、生徒がタブレット、教員がモニターなどを見る時間が長くなり、生徒の中には「ICT を使う先生の方が冷たい」と感じる生徒もいることが分かった。

(3) 課題

あくまでも ICT は学習を助けるためのツールであり、本校のような学校では一人一人としっかり向き合う時間が必要であることは間違いないと考える。授業展開において、どの場面で ICT を利用する

べきか、教科会で意見を共有する時間を設け、より生徒のためになる授業を展開したい。

## ○第2学年 英語科

### (1) 取組

今回は2年生の論理表現Ⅰの公開授業で、現在分詞・過去分詞の復習と英会話テストに向けての準備を行った。今回は、英会話テストの準備に重点を置き、生徒が自身の英語を話す姿を見て、普段どのように話しているか確認し改善することを目標とした。

活動の展開としては、初めに生徒が普段の授業通りに会話をしている様子を撮影した。この段階では、生徒が無意識に行っている会話の様子を把握することが目的であった。その後クラス全体で会話の際に注意すべき点を確認した。具体例として、アイコンタクトやジェスチャー、相槌などを挙げ、会話の際の注意点について周知した。

次に、注意点を意識しながら会話する様子を撮影し、動画を見返して比較する時間を設けた。自分の姿を客観的に見ることで、生徒自身の会話の中での強みや改善点を明確にすることができると考えた。今回の活動は、知識をつけるだけでなく、実践を通して生徒の学びを深めることを目的とした。

### (2) 成果

机間巡視の際の印象は、注意点を確認した後の会話において、ほとんどの生徒がアイコンタクトやジェスチャー、相槌などを意識しながら英語での会話を行っていたと感じ、改善しようという意思が見えた。また、授業の最後に実施した自己評価アンケートにおいては、多くの生徒が自身を低く評価していたが、自分ができるようになったことや、自分の姿を見た前後での変化を確認することで自身の成長を実感することができた。今回の活動を行うことで、生徒にとって自分自身の進歩を具体的に体感する良い機会になったと感じた。

### (3) 課題

今回の課題としては、慣れない活動を行うことで授業時間に余裕を持たないという点が挙げられる。自分自身の動画を撮影する活動は生徒にとって新鮮である一方で、抵抗感を持つ生徒もおり、活動に対して否定的な意見もあったと感じた。この点については今後の授業でよりスムーズに活動を行えるよう、同様の活動を繰り返し実践することや、他のクラスでも活動の1つとして定着させることが重要であると考えた。

今回の活動は生徒にとっても学びの多い活動であったと感じたため、今後の授業においても実践的な活動として取り入れたい。また、生徒の言語能力を高め、コミュニケーション能力をつけるため、生徒の能力に応じて積極的に工夫をしていきたいと考える。

## 6 研究成果

研究の成果として、ICTを活用した授業展開は、本校生徒にとって効果的であると感じた。12月に行った学習アンケートの結果から、タブレット端末やスマートフォンを活用すると、頭に残りやすい、家でも勉強できる、といった意見が見られた。

## 7 今後の課題

ICTを活用する場面では、生徒が主体的に活動できる反面、「楽しい授業」に偏りがちになってしまう。教員と生徒、また、生徒同士のコミュニケーションを重点に考えている本校にとって、ICTに頼り切りになる授業は危うさを含んでいると感じている。各教科において、どの場面で活用すれば効果的か、活用する時間としない時間の使い方が課題であり、次年度の研究項目としたい。

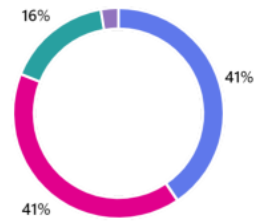
※ 本研究報告書は、令和7年3月14日までに当該地区の主管校に提出する。

※ 名古屋地区においては、旭丘高校、千種高校、城北つばさ高校、旭陵高校、愛知総合工科高校は瑞陵高校へ、明和高校、守山高校、愛知商業高校、中川青和高校は名古屋西高校へ提出する。

1年12月学習アンケート抜粋

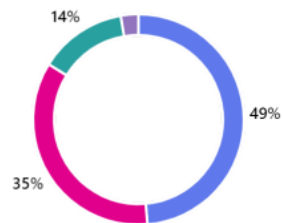
17. タブレット端末やスマートフォンを用いた授業はわかりやすいですか。

● そう思う	15
● どちらかといえばそう思う	15
● どちらかといえばそう思わない	6
● そう思わない	1



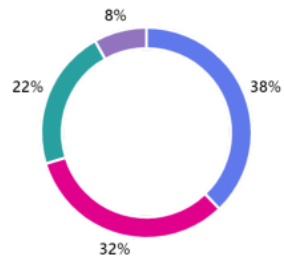
18. タブレット端末やスマートフォンを使う授業は楽しいですか。

● そう思う	18
● どちらかといえばそう思う	13
● どちらかといえばそう思わない	5
● そう思わない	1



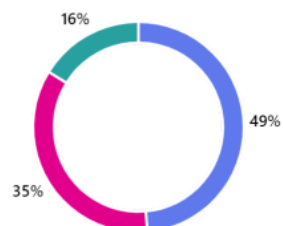
19. 授業でもっとタブレット端末やスマートフォン、 프로젝タを使用したいと思いませんか。

● そう思う	14
● どちらかといえばそう思う	12
● どちらかといえばそう思わない	8
● そう思わない	3



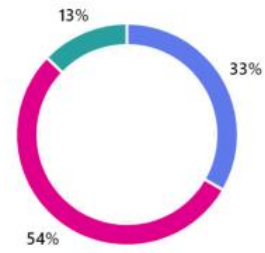
20. 授業でタブレット端末やスマートフォンを使うと便利だと思いますか。

● そう思う	18
● どちらかといえばそう思う	13
● どちらかといえばそう思わない	6
● そう思わない	0



17. タブレット端末やスマートフォンを用いた授業はわかりやすいですか。

● そう思う	13
● どちらかといえばそう思う	21
● どちらかといえばそう思わない	5
● そう思わない	0



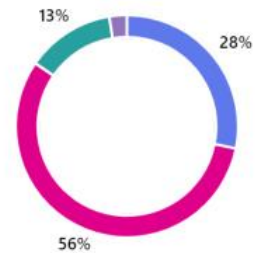
18. タブレット端末やスマートフォンを使う授業は楽しいですか。

● そう思う	22
● どちらかといえばそう思う	14
● どちらかといえばそう思わない	3
● そう思わない	0



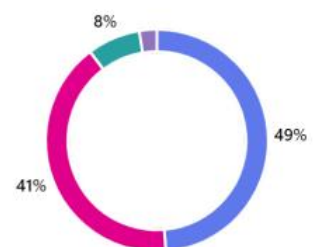
19. 授業でもっとタブレット端末やスマートフォン、 프로젝タを使用したいと思いませんか。

● そう思う	11
● どちらかといえばそう思う	22
● どちらかといえばそう思わない	5
● そう思わない	1



20. 授業でタブレット端末やスマートフォンを使うと便利だと思いますか。

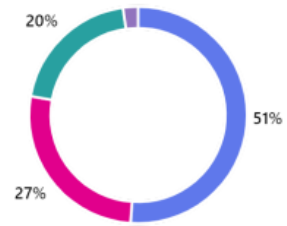
● そう思う	19
● どちらかといえばそう思う	16
● どちらかといえばそう思わない	3
● そう思わない	1



3年12月学習アンケート抜粋

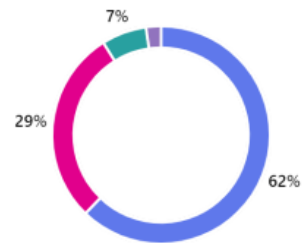
17. タブレット端末やスマートフォンを用いた授業はわかりやすいですか。

● そう思う	23
● どちらかといえばそう思う	12
● どちらかといえばそう思わない	9
● そう思わない	1



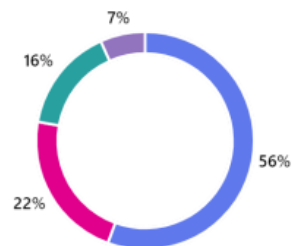
18. タブレット端末やスマートフォンを使う授業は楽しいですか。

● そう思う	28
● どちらかといえばそう思う	13
● どちらかといえばそう思わない	3
● そう思わない	1



19. 授業でもっとタブレット端末やスマートフォン、 프로젝タを使用したいと思いませんか。

● そう思う	25
● どちらかといえばそう思う	10
● どちらかといえばそう思わない	7
● そう思わない	3



20. 授業でタブレット端末やスマートフォンを使うと便利だと思いますか。

● そう思う	30
● どちらかといえばそう思う	10
● どちらかといえばそう思わない	5
● そう思わない	0

